

# 「地域建設業のグリーン戦略」

日時 2022年6月24日(金) 13:00~17:00

中継 イイノホール Room Aから、ネット中継

(建設トップランナー倶楽部ホームページよりライブ配信します)

## 開催趣旨

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、地域建設業のグリーン戦略への取り組みが加速している。本フォーラムは、グリーンインフラを活用した自然共生地域づくりや、循環型社会をめざす環境ビジネスの参入、省エネ・再生可能エネルギーの活用による地方創生などの先進事例を発表する。パネルディスカッションは「地域建設業のグリーン戦略をどう進めるか」と題して、脱炭素社会をめざす上で、地域建設業が果たすべき役割や方向性を議論する。

## 主催

建設トップランナー倶楽部

## 後援

日本青年会議所建設部会  
全国建設業協会  
建設業振興基金  
建築技術支援協会  
日本プロジェクト産業協議会  
建設コンサルタンツ協会  
地方建設専門紙の会

参加費 無料

## 申込方法

下記のフォームからお申込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S74215799/>



建設トップ倶楽部ホームページからも  
お申込みいただけます。

<http://kentop.org/>

## プログラム

### 【13時-13時20分】

司会	建設トップランナー倶楽部幹事 建設トップランナー倶楽部幹事	竹内大介 青森県 蜂谷剛司 岩手県
趣旨説明	建設トップランナー倶楽部代表幹事	米田雅子 (未定)
来賓挨拶	国土交通大臣 農林水産大臣	(未定)

### 【13時25分-14時05分】

第1部 地域エネルギー・環境ビジネスへの挑戦

アドバイザー	国土交通省 大臣官房 技術審議官 環境省 地域脱炭素推進総括官	廣瀬昌由 上田康治
ミラクルソルでめざすグリーン社会	日本建設技術	原 裕 佐賀県
鳥取県宮水力発電所のPFI再生事業への挑戦	美保テクノス	野津健市 鳥取県

(発表 各15分/アドバイザーコメント 各5分)

### 【14時10分-14時50分】

第2部 省エネ・再エネ拡大によるグリーン社会

アドバイザー	国土交通省 不動産・建設経済局 官房審議官 建設業振興基金理事長	大澤一夫 佐々木 基
再エネ活用による共生型社会づくり	大高建設	大橋聡司 富山県
江之浦リゾート凧門からみる環境配慮型リノベーションホテル	瀬戸建設	瀬戸ひふ美 神奈川県

(発表 各15分/アドバイザーコメント 各5分)

### 【14時50分-15時】 休憩

### 【15時-15時40分】

第3部 農林水産資源の活用による地方創生

アドバイザー	農林水産省 農村振興局 農村政策部長 林野庁 森林整備部長	山口 靖 小坂善太郎
暮らしの森とURASHIMA VILLAGE	金丸工務店	藤田 薫 香川県
日高の循環型アスパラガス栽培と地方創生	幌村建設	幌村佑規 北海道

(発表 各15分/アドバイザーコメント 各5分)

### 【15時40分-16時50分】

第4部 パネルディスカッション「地域建設業のグリーン戦略をどう進めるか」

国土学総合研究所長	大石久和
農林中金総合研究所理事長	皆川芳嗣
加藤建設会長	加藤 徹 愛知県
建設トップランナー倶楽部代表幹事	米田雅子
コーディネータ	
荒木コンサルティングオフィス代表	荒木正芳 北海道

### 【16時50分】

総括コメント	建設業技術者センター理事長	谷口博昭
閉会の言葉	フォーラム実行委員長	中村仁志 静岡県

【問い合わせ先】

建設トップランナー倶楽部 事務局

〒113-0023 東京都文京区向丘 1-5-4 ワイヒルズ 2階 米田事務所内 中川寛子, 大里茂登子

TEL 03-5876-8461 FAX 03-5876-8463 Mail: [info@kentop.org](mailto:info@kentop.org)

ホームページ: <http://www.kentop.org/>

# 令和4年 第16回建設トップランナーフォーラム

## 地域建設業のグリーン戦略 発表概要

### 第1部 地域エネルギー・環境ビジネスへの挑戦 【13時25分-14時05分】

#### ミラクルソルでめざすグリーン社会 日本建設技術 原 裕(佐賀県)

地球温暖化の原因となる二酸化炭素の吸収は、自然界では山林と海洋ですが、まちの緑化も重要です。ミラクルソルを用いた緑のまちづくりにも力を入れ、グリーン社会を進めることにより、防災活動や緑に癒される憩いの広場としての活用が期待されています。

#### 鳥取県営水力発電所のPFI再生事業への挑戦 美保テクノス 野津健市(鳥取県)

地方においては急速に人口減少、少子高齢化が進み、公共インフラの維持メンテナンスの将来像が描けなくなっています。鳥取県では、その一つの解決策として、PFI手法により、県所有の水力発電所の運営を信頼できる民間事業者へ委託する試みを実施中です。本事業への地域建設業としての取組をご紹介します。

### 第2部 省エネ・再エネ拡大によるグリーン社会【14時10分-14時50分】

#### 再エネ活用による共生型社会づくり 大高建設 大橋聡司(富山県)

黒部市で「地域の資源を活かした持続可能な社会」を目指し、産学官の連携を主導しながら公益事業に取り組んできました。小水力発電による電気バスの運行、温泉熱や木質バイオマス利活用などの実践事例を紹介します。

#### 江之浦リゾート凧門からみる環境配慮型リノベーションホテル 瀬戸建設 瀬戸ひふ美(神奈川県)

休眠状態にあった神奈川県小田原市の保養施設を全面的にリノベーションし、環境配慮型ホテル「江之浦リゾート 凧門」を2021年6月にオープン。人間の免疫力を高める癒しの空間を演出し、地域電力の導入や次世代エアコン「パネルシェード」の採用などで「ゼロ・ウェイストホテル」を目指しています。

### 第3部 農林水産資源の活用による地方創生 【15時-15時40分】

#### 暮らしの森とURASHIMA VILLAGE 金丸工務店 藤田 薫(香川県)

浦島太郎伝説が語り継がれる香川県三豊市。地域と観光客をつなげる観光振興の取組として宿泊施設『URASHIMA VILLAGE』を2021年1月にオープン。同年11月に「ウッドデザイン賞2021」最優秀賞(農林水産大臣賞)を受賞しました。

#### 日高の循環型アスパラガス栽培と地方創生 幌村建設 幌村佑規(北海道)

当社は「高品質なアスパラガスづくり、私たちの誠意を食卓へ」を目標に農業へ参入しました。令和元 年には持続的農場経営をめざし「JGAP」を取得。当地域ならではの資源を活用した循環型栽培などの取組を紹介します。

